



一人ひとりがステップを踏み、合わせる喜びを味わうことができるための指導
「ICTを活用したじゃんがら念仏踊りのステップ練習」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・中学部全学年（通常の学級・重複障がい学級）
	障がい名等	知的障がい
	子どもの実態 （学習上又は生活上の困難さ等）	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に対する興味・関心は高く意欲的に取り組む生徒が多い。 ・通常の学級の生徒は新しい活動に抵抗感があり、自信をもって表現できるまで歌唱や身体表現等に参加できない生徒がいる。 ・重複障がい学級に生徒は集中できる時間が限られているため、わかりやすく興味を継続できる活動内容の工夫が必要である。
授業について <small>（教材・教具を使用した授業や指導場面）</small>	教科名等	音楽
	単元(題材)名	「観て聴いて歌って踊る福島～いわきの伝統芸能 じゃんがら念仏踊り～」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「じゃんがら念仏踊り」について、歌唱、器楽、身体表現それぞれを学習し、皆で合わせることができるようにする。 ・歌唱や器楽に関してはパートを決めて活動する。 ・念仏踊りの足のステップに関しては、リズムに合わせて全員で動きを揃えることができるようにする。
教材・教具・支援機器について	教材・教具 ・支援機器	<p>【名称】 ステップ練習のための ICT 活用</p> <p>【画像】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>じゃんがら外部講師に依頼し、示範のステップを撮影。前方からの撮影で左右の動きを確認する。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>T1の足部を上方(頭上)から撮影。前後の足の動きがわかりやすくなり、生徒も映像を見て自発的に動き出した。</p> </div> </div>
	ねらい・工夫点等	<ul style="list-style-type: none"> ・足のステップを踏む動作に関して、教師の示範よりも大型電子黒板に映した足の動きの方が視覚的に効果があることがわかり（体育科との関連）取り入れることにした。 ・ステップの見せ方（撮影方法）に関して2種類撮影を行い、多面的に確認を行えるようにした。 <ul style="list-style-type: none"> ① 前方から撮影する方法（左右の動きがわかる） ② 上方（頭上）から撮影する方法（前後の動きがわかる） ・ステップの速度を①ゆっくり②実際の速度（速い）の2段階で設定し、生徒の進度に合わせて使用することにした。
	材料・作成方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を使用して、教師が模範となり2方向から動きを撮影する。（①前方から全身を撮影する。②上方（頭上）から足の動きを中心に撮影する。）
子どもの変容や評価	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が目前で示範するよりも、注目する視点が上方（生徒が起立したときの視線）になることや、大型電子黒板の大画面で動きを確認できることなどから、画面を注視しながら取り組むことができるようになった。 ・ステップの映像が始まると、教師の指示がなくとも生徒が自発的に合わせ、動き出すようになった。 	